

後期高齢者に対する早期リハビリテーションに関する研究

1. 研究の対象

2012年4月～2016年3月までの間に筑波メディカルセンター病院総合診療科に入院し、リハビリテーションを受けた方

2. 研究目的・方法

日本は超高齢社会により、社会保障費の増大と財政圧迫が予測されます。早期リハビリテーション介入や離床は、主に集中治療室分野、肺炎、脳卒中において在院日数の短縮、日常生活動作能力(ADL)向上等の効果が報告されております。しかし、後期高齢者を対象とした報告は少なく、その効果は明らかになっておりません。本研究においては後期高齢者への早期リハビリテーション介入の違いが在院日数やADLなどに与える影響を明らかにすることを目的と致します。

診療録より後方視的に情報を収集します。研究期間は平成30年3月31日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、治療情報、リハビリテーション情報等を収集致します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

研究責任者：茨城県立医療大学大学院保健医療科学研究科 河村健太

住所：〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669 番地 2

電話：029-888-4000(代表)